

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	プロダクトデザイン	2	2	デザイン	必修	自主教材

1. 学習の到達目標

プロダクトデザインでは工業製品のモデルを作ること学びます。工業製品とは工場で大規模生産できるものを言いますが、生産に入るためにはその商品の元となるモデルが必要です。この科目は2, 3年の2年間で学びますが、2年次はアイデアからモデル制作までの製作工程を学ぶことを目標とします。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	制作に関する技術に関心を持ち、生活の改善・向上を目指し、創造的、実践的態度を養う。	制作に関する技術およびその用途に関する問題を広い視野から考え、その解決策を適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	環境に適応した製品を作り出すために製品に関する基礎的な技能・技術を身につけ、計画性のある処理能力と表現能力を身につけている。	あらゆる生活の中においてプロダクトデザインが果たすべき役割について学び、その必要性について理解している。
評価の方法	出席状況、授業態度、アイデア、作業能力、作品、提出期限を守る			

3. 教科からのメッセージ

小さな文具品から家庭で使う日用品、大きな自動車に至るまで、およそ工場で生産される製品が生み出されるまでにはたくさんの工程があります。まずたくさんのアイデアを考え、いくつか絞ってそれぞれのモデルを作り、その中から最終のアイデアを決めるために実物大のモデルを数点作り、最終決定をします。決定したモデルをもとに製品が作られます。なぜモデルが必要かと言うと、ペーパープランだけだと触った時の感触や使いやすさ、見た目の大きさなどがわからないからです。製品はすぐ機械でできるから機械操作ができれば誰でもできると思いがちですが、生産に至るまでにはアイデアからモデル作りという地道な手作業が必要なのです。社会や生活に役立つものづくりに興味を持って、取り組んでもらいたい。

2年 プロダクトデザイン 年間指導計画表

単位数（2単位） 教科書：自作教材

目 標	社会生活に適応した、より使いやすい製品のアイデアを考え、それらのモデルを制作します。誰もが使いやすく、色彩や形状が美しい製品開発を目指します。		
月	大 項 目	中 項 目	時 数
4	生物をモチーフにした 立体造形	1. 条件の設定	25
5		2. 資料収集	
		3. アイデアの展開	
		4. 三面図作成	
		5. 芯材の削り出し・形成	
6		6. 外形の造形	
		7. 塗装	
7		8. 合評会	
8	生物をモチーフにした プロダクトデザイン	1. 条件の設定	45
9		2. 資料収集	
10		3. アイデアの展開	
		4. 三面図作成	
11		5. 芯材の削り出し・形成	
12		6. 外形の造形	
1		7. 塗装	
2		8. 合評会	
3			